

ドローンを活用した河川巡視・点検への適用検討会 設立主旨

近年の急速な技術革新に伴い、各分野でドローンの普及及び利活用が進んでいる。その中でもカメラ搭載型のドローンは取扱や操縦が複雑でないこと、カメラの性能が良いことから広く普及しており、河川分野においても、気候変動に伴う洪水の頻発化・激甚化や担い手確保等の自然的・社会的背景を踏まえ、河川管理の高度化・効率化を目指し、一部河川では、カメラ搭載型やレーザー搭載型のドローンを用いた河川巡視・点検が試行実施されている。

また、航空法の改正により、自律・自動のドローンによって河川を縦断的に連続して飛行することが可能となっている。

一方で、ドローンにより河川の上下流を縦断的に連続飛行し、画像やセンサーデータをリアルタイムで伝送し、AI等によって自動解析するまでの河川巡視の一連をドローンに置き換えるには、ドローン機体の開発状況等を踏まえ、段階的に実施せざるを得ない。

これらドローンを巡る機体開発や解析技術等を整理し、ドローンを活用した河川巡視・点検を段階的に実装するため、学識経験者及び関係団体を含めた検討会を設置し、技術的な検討・助言を「ドローンを活用した河川巡視・点検の手引」に反映させることを目的として「ドローンを活用した河川巡視・点検への適用検討会」を開催する。